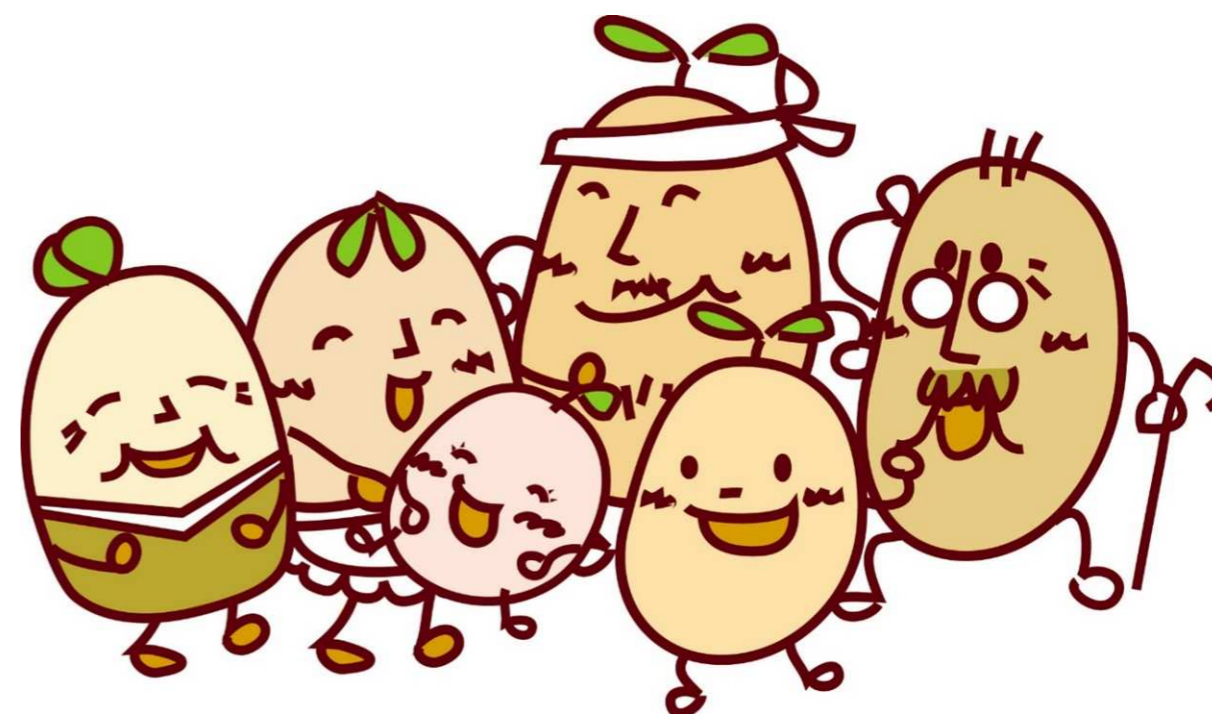


出典：遠城寺式・乳幼児分析的発達検査表（九州大学小児科改訂版）
乳幼児の発達障害診療マニュアル健診の診かた・発達の促しかた
イラストでよくわかる0～6歳児の発達と保育
1歳6か月児のびのび子育て
赤ちゃんのことば 言葉を育てるおとなのかかわり
母子の愛着形成について これから始まる育児の前に知っておきたいこと

まちかど ほっと相談室

月齢ごとの発達と 遊びについて (4～6か月編)

※発達の進み具合は、その子その子で異なります。



岡崎市健康・食育キャラクター
まめ吉と家族

岡崎市保健部健康増進課 母子事業係
TEL：(0564) 23-6084 FAX：(0564) 23-5071

4か月児

《発達の見方》

【運動】 首が座って、たて抱きしても安定します。

手と同じくらいの大きさのおもちゃを、手のひらで挟むことができます。

【社会性】 目の前のものに興味を示し、目で追うこと（追視）ができるようになります。

音によく反応するようになり、見えるものとさわったもの、見えたものと聞こえたものを結びつけられるようになります。目を見つめると顔を追ったり、あやすと笑いかけてくれ、人に関心を示すようになります。

【言葉】 声を出して笑うようになります。

《発達を促す遊び》

音の鳴るおもちゃで遊ぶ

音の鳴るおもちゃを顔の近くで動かすことで追視を促し、耳にも刺激を与えられます！

赤、緑、黄のおもちゃに反応しやすいです！



お子さんの目を見て視線を合わせながら、声をかけるようにしましょう！

うつぶせのままにならないように注意しましょう。

5か月児

《発達の見方》

【運動】 早い子では体を横に向けることや寝返りが可能になり、ガラガラを振ることができるようになります。

【社会性】 人を見ると笑いかけるようになります。

【言葉】 キャーキャーと、甲高い声を出すことができるようになります。

《発達を促す遊び》

単純なコミュニケーションのできる遊び



たかいたかい



乳幼児揺さぶられ症候群に注意しましょう。

いないいないばあ



6か月児

寝た状態でおもちゃを落とすと危険なので、けがをしにくい素材のおもちゃを選ぶようにしましょう。

《発達の見方》

【運動】 手をついて座ることができるようになります。倒れそうになっても手でバランスを取ろうとするのは、バランスを保つための防御的な反応で、脳が発達した証拠です。親指以外の4本の指と手のひらで、物を挟んでつかむことができます。おもちゃを一方の手から反対の手に持ち変えることもできます。

【社会性】 鏡に映った自分の顔に反応します。

【言葉】 人に向かって声を出します。

《発達を促す遊び》

色々な手触りのおもちゃ（固い、柔らかい、つるつる、でこぼこ、ザラザラ）で遊ぶ

脳を刺激します。

ワンポイントアドバイス

お母さんが赤ちゃんにプレゼントした病気に対する免疫力は、6か月ころから低下し始めるため、抵抗力が低下し、風邪や胃腸炎などの感染症にかかりやすくなります。お部屋の掃除や、おもちゃの消毒を定期的に行い、**予防接種・健康診査**を計画的に受けるようにしましょう。

<ふれあいを大切に！>

子どもの成長にとって大切なことは、子どもの泣きや要求等の気持ちに合わせた声掛けをすることです。子どもが出すサインに対して愛情をもって接し、子どもが反応すること（泣く、笑う、手足を動かす）で子どもの脳の発達を促されていきます。よって、授乳中等の赤ちゃんのお世話をしている時は、スマホやテレビを見ながら行う**「ながら育児」**は極力しないようにしましょう。

授乳中は赤ちゃんとも目と目をあわせ「おいしいね」「おなかがすいてただね」と語りかけるようにしましょう。そうすることで赤ちゃんが安心でき、親子の愛着が育まれます。

赤ちゃんが泣いていたなら「どうしたの？」
「〇〇が嫌だったんだね」と話しかけたり触れたりして反応を返すようにしましょう。
赤ちゃんもこの時の大人の表情や感触、雰囲気を感じ取って反応を返してくれます。

ながら育児はしない！

